

「きょうと元気な地域づくり応援ファンド検討プラン」に係る
パブリックコメントの要旨及びこれに対する府の考え方

項目	意見の要旨	府の考え方
基本的な考え方・資金等の調達に関する事項	<p>○ 助成金を受けた団体が、地域に何かを還元する。府民に還元できるシステムを入れることで、寄附をしてみようと感じることになる。根本を貫く信念、魅力が必要である。</p>	<p>□ 助成金申請の活動をすれば終わりではなく、その団体が地域に出来ることを還元することは、府民がファンドへの信頼や関心を持ち、共に地域力の再生を進める意味からも大切なことだと思えます。 助成金の選考基準の一つに、地域への還元を含めるなど府民の方々にわかりやすい形で、ファンドの意義をお伝えしていきます。</p>
記載の表現	<p>○ ファンドのイメージ図が、誰が何をするのか分かりにくい。 府民・企業やファンド組織、NPOなどの主体を記載するとよいのでは。</p> <p>○ 「収益の伴わない公益的活動」というと、お金をとってはいけなように見える。「収益のためではない公益的活動」とすべきではないか。そうでないと、本当は事業性をもってやらなければいけない事業まで、事業性を持たずにやってしまうという甘さにもつながる。</p>	<p>□ ファンドのイメージ図に、「府民・企業等」、「ファンド運営組織」などの主体を記載し、よりわかりやすい図に修正します。</p> <p>□ 「収益の伴わない公益的活動」の表現は、参加費などを取ってはいけないとの誤解が生じますので、よりわかりやすい表現に修正します。</p>
支援内容に関する事項	<p>○ 地域力再生の助成など、NPOの内部人件費はみないで補助率が2/3というのは、大企業や行政のひも付きでない団体には厳しいものがあります。NPOはタダで動ける人の集団ではありません。年金生活者や、生活保護程度の収入で出来る範囲で協力していただいている方がおられ、企業と同じように、公務員が給料もらっているのと同じように、責任持って事業を施行し組織を発展させるためにも、食べられる賃金で委託してほしいです。少しでも生計の足しになるのでないと、人は継続的には動けません。 食糧自給など深刻な問題を解決していくためにも、NPOに従事する人が元気になれる財政的な支援をお願いいたします。</p>	<p>□ 御意見を踏まえ、取組強化を図ってまいりたいと考えております。</p>

<p>○ 私はボランティアでコンサートをしています。コンサートをあまり聴く機会のない地域に出掛け、一人でも多くの方に音楽の楽しみを味わっていただきたいと思います。地域の催しのあとのひとときなどに、私たちの奏でる音楽をお聴きいただいて心の潤いとしていただければとても嬉しいです。</p> <p>コンサート会場では、私たちは勝手に準備しますから、皆さんのお手を取る事は殆どありません。もし、外でのコンサートの場合、スピーカーやマイクも持っていきます。もし、出来れば、交通費程度はいただきたいですが。</p>	<p>□ 本ファンドの支援の内容として、文化芸術活動への支援も検討しています。</p>
<p>○ 全国的にも初となるファンド方式のNPOなどへの資金支援に大変期待しています。</p> <p>法人は設立後の事業資金の調達には大変苦労しています。事業的には他の個人事業主、小さな会社より事業収入があっても、信用は保証協会の保証を受けることができなため、各種制度融資も受けることができません。地域の課題を見つけ積極的に事業を実施していくためには、創業はもちろんですが、安定しているNPOに対して多くの資金支援ができるような仕組みを入れてください。</p> <p>中間案ではボランティア、創業のところに力が入っているように思えますので、創業して数年が経過し、これから伸びていこうとしている事業型NPOに対して、市町村の意見書が必要とかという条件付でもいいので大型の資金支援策を是非入れてください。</p>	<p>□ 本ファンドの支援の内容として、設備資金等を含めた融資制度を検討しています。</p> <p>なお、昨年度策定した「コミュニティビジネス」による地域活性化プランにおいて、「NPO法人を信用保証制度の対象とするよう国への要望活動の実施」を重点施策としており、国に対しコミュニティビジネスの担い手であるNPO法人についても、中小企業信用保険の対象とすることを要望しています。</p>
<p>○ 支援対象に障害者や在日外国人も入れてほしい。</p>	<p>□ 本ファンドは地域の課題解決や活性化を図る個人及び団体を対象としており、御提案の方々もその対象者に含まれています。</p>

	<p>○ 中小企業への融資については、既存の金融機関と競合しないか。貸せる所には、既に貸しているのではないか。</p> <p>ファンドの運用は、誰がどのように行うのか、リスク管理はどのようにするのか。</p> <p>資金運用については、ヘッジファンド等のハイリスクの所も使うのか。</p> <p>寄付者（出資者）に、運用益の一部が分配されるようにすると、お金が集まりやすいのではないか。特定のNPOを指定して、寄付を行う事は可能か。</p>	<p>□ 本ファンドでの融資は、公益的な活動を行う団体を想定しており、中小企業に融資を行う金融機関と競合はしません。</p> <p>□ 融資に関するリスク管理は、金融機関を想定しており、ハイリスク・ハイリターンなどの投資とは異なります。</p> <p>□ 出資者への運用益の分配には、法的な規制から難しいと考えています。</p> <p>□ 法人指定寄附制度については、府民の方々のNPOを支援したいとの思いの実現に向けて検討します。</p>
	<p>○ 大変有意義なプランだと思います。NPO法人の運営に携わっていますが、初年度の資金不足は思った以上に深刻です。資金面での支援の他、インキュベーションオフィスなども積極的に貸していただいたり、財政面、経営面でのアドバイザー（中小企業診断士、販促の専門家、コンサルタント等）による経営・創業助言の支援などのソフト面での応援もお願いしたいです。</p>	<p>□ 本ファンドでの支援事業として、資金、活動の場及び、ファンド利用者へのフォローアップ（運営面での指導）を行うこととしております。</p>
	<p>○ 女性の起業は生活経験を活かした地域密着型の起業をすることにより、地域を活性化する鍵となる。このため、支援等の中に女性起業家支援を設けて積極的に取り組みを支援すると大変ありがたい。これは絶対実現してほしいと思います。なぜなら、女性も安心して働けるように環境づくりをすることが大切であると思います。</p>	<p>□ 本ファンドの支援事業として、女性起業支援枠を設け、積極的に支援することとしております。</p>
<p>支援内容・資金の調達に関する事項</p>	<p>○ ファンド組織が税制優遇団体であれば、特定の法人を指定して寄附をできる制度を設けて欲しい。そのような制度があれば、支援しやすいとの話も多い。</p>	<p>□ 本ファンドでは、府民の方々の「この団体（この活動）を支援したい」との思いを大切に、府民の方々の思いが実現できるよう、ファンド組織が税制優遇団体になることを目指すとともに、法人指定寄附制度についても検討します。</p>

<p>資金等の調達に関する事項</p>	<p>○ 京都の特性を考えると、企業寄附金が集まる可能性は高いと思う。</p>	<p>□ 御意見を踏まえ、取組強化を図ってまいりたいと考えております。</p>
<p>基本的な考え方に関する事項</p>	<p>○ 「収益を伴わない公益的な活動」と「ビジネス的な手法で行う活動」に分けて考えているが、ふたつに分けられない部分もある。 このような部分は「収益を伴わない公益的な活動」の中で行うことも視野に入れてはどうか。</p>	<p>□ 御意見を踏まえ、より多くの活動が対象となるよう柔軟に対応していきます。</p>
	<p>○ NPO活動を進めるためには、市民の支援（認知）が必要である。 そのためには、京都府のクレジットがあると動きやすい。併せて、活動費ができればベストです。</p>	<p>□ 京都府では、NPOパートナーシップセンターを設置し、さまざまなNPO活動を広く府民の方々に理解していただくための事業を展開しております。更に多くの方に活用していただくなかで、機能の充実を図っていくこととしております。 本ファンドの支援の内容として、NPO活動の助成制度を検討しています。</p>